創刊大正11年
明治大学新聞
週刊
毎週　木曜発行
定価　10円
©明治大学新聞学会1972
購読料　一部分(送料共)　二五〇円　一年分(送料共)　一三〇〇円
発行所　明治大学新聞学会　東京都千代田区神田駿河台(〒)　電話(二九二)局五八一一(内線)　(二九二)局五九一代(直通)八三〇
新年号

詩とはＸＸである
詩人とは黒き犯人である

善人面したてめえらへ

善人面したてめえらへの呪い
おれよ　たとえ　狂ったとしても
呪い　これだけは　のこせよ
でなければ　生きられない

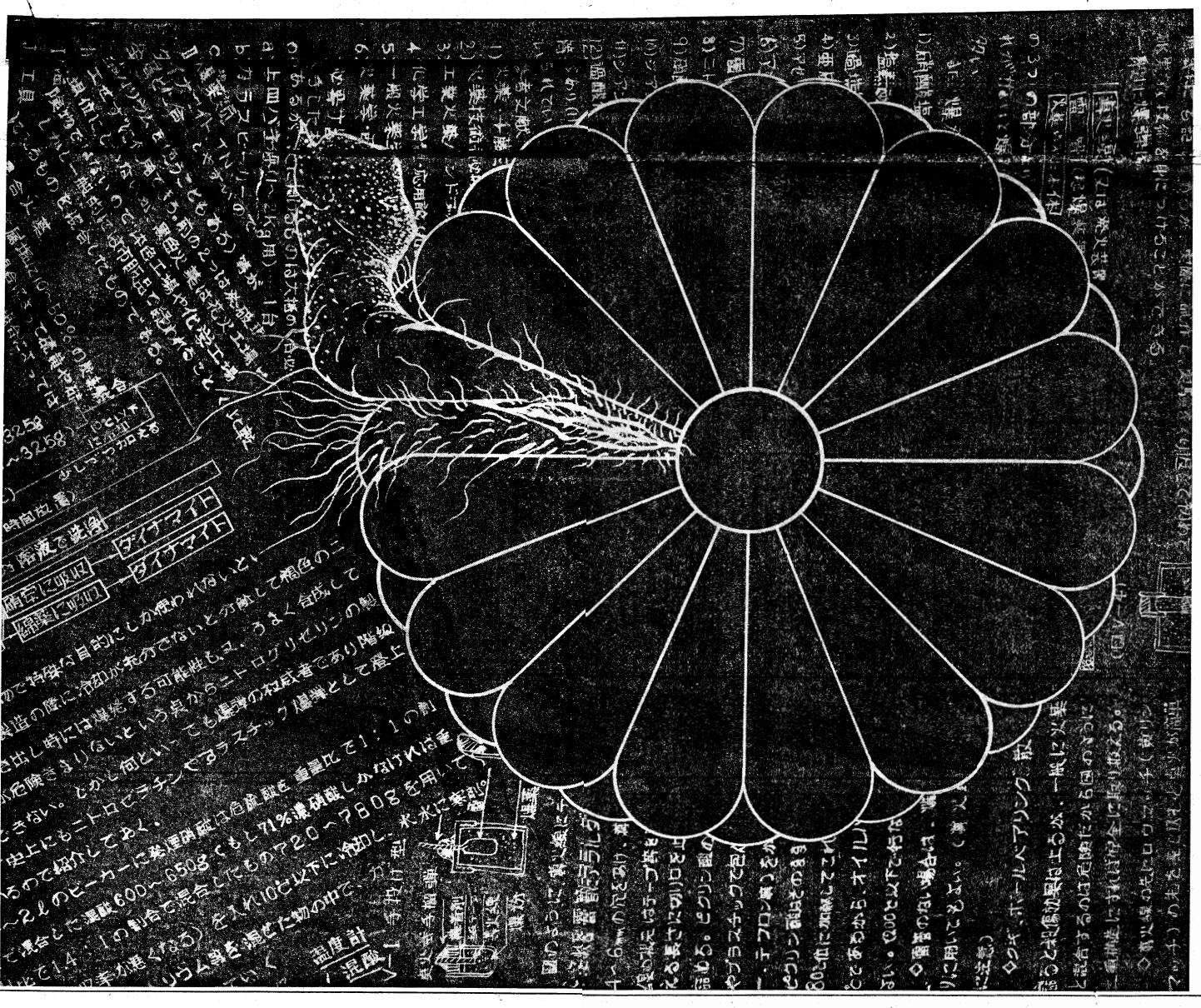
善人面したてめえらへの呪い
呪い　おれの　呪い呪い
呪い　呪いの字を四百四十四書き送る
死んだら呪いも消えるが

善人面したてめえらへの呪い
おれよ　たとえ狂ったとしても
呪い　これだけは　のこせよ
でなければ　生きられない

善人面したてめえらへの呪い
呪い　おれの　呪い呪い
呪い　呪いの字を四百四十四書き送る
死んだら呪いも消えるが

善人面したてめえらへの呪い
生きてるあいだは　てめえらへ
おれは呪い投げてやる
この赤い赤い血がかわくまで

善人面したてめえらへの呪い
いらぬ　おせっかい　やきやがる
てめえらなんぞの薄情け
信じる馬鹿が悪いだけ

善人面したてめえらへの呪い
信じられぬ　そう言った
おれの見解ちがわなかった
くれた有難送り物におかえしは　てめえら
への呪いだ

（永山則夫著「無知の涙」より）